

## 『植物と人々の博物館』

昨年 9 月に、「日本エコミュージアム研究会第 15 回全国大会」を小菅村で開催しました。現在、「エコミュージアム日本村構想」を進めています。

「エコミュージアム」とは、簡単に説明すると、地域全体が博物館ということです。展示物だけでなく、その地域で継承されている、自然と文化、生活、技術、そして「人」など、生きているもの全てが博物館であるということです。

その中で、小菅村中央公民館を「植物と人々の博物館」＝「コアミュージアム」として、東京学芸大学、小菅村と連携して整備を進めています。

自然文化誌研究会も協同していますので、活動内容を今後、紹介していきたいと思います。(事務局)

### ＜雑穀見本園～収穫の時期＞

本会が小菅村に拠点をもってから 7 年目になります。その間、「雑穀見本園」として、キビ、アワ、タカキビ(アカモロコシ)など、小菅村で伝統的な雑穀を栽培してきました。今年も 8 月～9 月にかけて収穫しています。



キビの収穫(8月21日 中組地区)

雑穀栽培は小菅村の伝統と、新商品としても注目されています。これまでに小菅の湯で雑穀メニュー、雑穀クッキーが商品化されています。

最近では、雑穀ビール「ピーボ」が商品となりました。



雑穀ビール「ピーボ」の販売(8月22日学芸大学にて)

### ＜9月27日 小金井市公民館の皆様をご案内＞

当日は、「アワの収穫体験」の予定でしたが、雨のために、雑穀の取り組みについてお話をしました。



小菅村役場前で小菅村教育長によるご挨拶

### ＜8月27日 第15回ミュージアム研究会の開催＞

ミュージアム研究会では小菅村の方々と、今後の展望を話し合っています。現在、サテライトの目印であるロゴマークについて検討を進めています。



『日本エコミュージアム研究会第 16 回全国大会』が、10 月 23～24 日に、山形県朝日町で開催されます。朝日町はエコミュージアムの先進地でもありますので、今年行って見えます。(事務局)